

# 平成29年度 石狩ブロックの研究

## 研究主題

子どもとつむぐ、心かよわす保健室づくり

～効果的な執務をめざして～

## 主題設定の理由

多忙化している学校現場において、日々大勢の子ども達が、様々な理由を抱え保健室を訪れている。私たち養護教諭の執務は、一人ひとりの子どもを大切に受容し、心身ともに健康な生活をおくれるよう、執務の特性を生かし実践している。子どもを中心に保護者、職員とともに、心かよわす保健室であるためにそれぞれの養護教諭が行っている実践から執務を振り返り、学びあうことで連携力を高めるのではないかと考えた。

2016年度研究1年目はテーマ別グループ交流を行った。視点を設定することにより実践の中にある課題に着目することができた。2017年度は引き続きグループでの取り組みを主に課題について分析し研究を深めていきたいと考えている。

## 研究の仮説

1. 昨年度の研究により明確化した課題解決のための方策をそれぞれのグループで検討することで養護教諭としての実践力・連携力を高められる。
2. 交流実践を深めることにより日常の執務を子どもの立場になって見直し、心かよわす保健室づくりが築ける。

## 研究内容

1. 執務の交流を行い、子どもと向き合うために必要な知識や実践を交流し、様々な場面においての効果的な指導方法や工夫を見いだす。
2. 保健室で行われている各種取り組みについて分析、検討する。

## 研究方法

1. 全体交流・グループ交流を行う。
2. 理論・実技研修を行う。